

2008 年度

科目名 <p style="text-align: center;">ピアノ A</p>	対象学科・学年 教育教福 1 回生	担当者 <p style="text-align: center;">植條 勝子</p>
授業テーマ ピアノ実技		
授業の概要と目標 幼児期の音楽指導はその発達過程に重要な影響を与え、指導の基礎としてピアノを弾くことは不可欠である。ML システムによる個人指導とアンサンブルとを併行して授業を進める。初心者は初歩的な読譜、運指、視奏などから始め、音楽体験者は現段階からさらに上のランクを目指す。アンサンブルは公開レッスン形式を採り、人前で演奏することに慣れることと、人の演奏を参考により表現を取り入れて個性的な演奏に結びつくよう工夫をする。		
評価方法 課題曲（教則本・マーチ）の実技試験とアンサンブル演奏とにより評価する 毎回のレッスン時の態度や出席も参考にする		
テキスト バイエル教則本 プルグミュラー25 の練習曲 ソナチネ・アルバム等 マーチ アンサンブル曲は楽譜を配布する	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 初心者のために 音楽体験調査 基礎的理論 奏法の説明 2. ML システムとは アンサンブルの楽しみ方（グループで、ディスクを使用して） 3. 個人レッスン（全員）により、各自のレベルを確認し、レベルを決定する 4. アンサンブルのグループ編成をする 5. 個人・アンサンブルレッスンを併行する 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. 試験課題曲を提示する 10. 課題曲の個人レッスン 自由曲によるアンサンブルレッスンを併行する 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. 全グループによるアンサンブル演奏発表 15. 実技試験（教則本・マーチ） 		